

6年 細久手学習（ふるさと学習） 令和3年10月5日(金) 1・2・3時間目

◇長寿クラブの下 條久生さん・小倉真知子さんに案内をしていただき、実際に細久手宿の史跡を訪ね、日吉の歴史について学びました。細久手宿は中山道の宿場町として栄え、江戸幕府十四代将軍 徳川家茂の正室である和宮様が通った史実があるばかりか、新選組の土方歳三や松下村塾の吉田松陰、日本地図を描いた伊能忠敬が訪れたことなど、教科書に載っているような人物が多く利用していたことが分かりました。

細久手宿の鬼門にあたる位置に建てられた庚申堂や、安藤広重が細久手宿を浮世絵で描いたとされている場所から町並みを見たり、細久手で一番高い場所にある妙見大菩薩の碑や、刑場跡、本陣墓地などを巡りました。私財を投げうち、細久手宿を開いた国枝与左衛門の墓の周辺に樹木を植えると二股になるといふ不思議な話について現物を見ながら聞いたことや、大黒屋で上段の間にあげていただいたことなど、どれをとっても貴重な体験となりました。



【体験をしての感想】

◇実際に細久手宿の史跡を巡って、日吉の歴史を知ることができてよかったです。

◇大黒屋の中を初めて見れたり、神社や山の中の史跡を見れたり、教えてもらわないとわからないことも教えてくださったので良かったです。今日は楽しかったです。